



三重県ユニセフ協会機関誌

みえユニセフレター

Mie Unicef Letter 2026

Vol.24
2026.3

副会長就任 ご挨拶

富永治郎 副会長 就任メッセージ

三重県ユニセフ協会副会長を務めさせていただいております井村屋グループ(株)代表取締役副社長CFOの富永治郎でございます。皆さまには日頃より多大なご支援を賜っており厚く御礼申し上げます。私の子ども時代を振り返ると両親は自宅で自営業を営んでおり、子どもの頃から両親の働く姿を見る機会が多い環境で育ちました。6歳年上の兄がおり年齢が離れているため喧嘩相手にもならなかったのですが、羨ましい存在として背中を見ていました。兄も年の離れた友達のように接してくれたので、兄のやる事は何でもやりたがったように思います。野球が好きで両親からは兄と同じように野球の道具を買ってもらい、休みには兄と野球をして過ごしていました。小学校では三重県のソフトボール大会で優勝する事もでき、楽しい思い出として心に残っています。

両親は戦争、戦後を経験しており「子どもには食事と教育では不自由をさせたくない。」と言っていた事をよく覚えています。日本ユニセフ協会の広告では「脱脂粉乳の味をいまもずっと覚えている。」とのメッセージが掲載されています。戦後の日本、食糧のない大変な時代の中でユニセフの援助により届けられた給食は子どもたちに笑顔と希望をもたらし、将来への力となりました。戦後80年を過ぎましたが、この事は決して過去の時代の話ではありません。今、世界で起こっている戦争、紛争、気候変動の影響や自然災害により多くの人々が飢餓や病気に苦しみ、教育を受ける機会も失われています。SDGsの掲げる「誰一人取り残さない」という理念のようにユニセフの支援活動は時空を超えて求められる重要な活動であります。井村屋グループでは「おいしい!の笑顔をつくる」を企業の使命として食を通じた社会貢献を目指してグローバルな活動に取り組んでいます。また、お客様や従業員の健康、幸せ願う「健幸経営」を標榜しております。企業人として市民としてユニセフの理念を大切にして、微力ではございますが少しでもお役にたてるように努力してまいります。今後ともご指導、ご支援をいただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

井村屋グループ(株)
富永治郎

日本ユニセフ協会 団体賛助会員様 (敬称略、2026/3/31 現在)

万協製薬(株)、井村屋グループ(株)、生活協同組合コープみえ、コープみえ虹の会、(株)三十三銀行、三重県生活協同組合連合会、日本トランスシティ(株)、(株)百五銀行、三重大学生活協同組合、三重交通(株)、(株)スズカ未来、辻製油(株)、(株)ユタカ開発、名四ゴルフ(株)、(株)ウエノテック、ICDA ホールディングス(株)、(株)岡田商事、(株)ミヤムラ、(株)トピア、(株)ビーイング、正和製菓(株)、(株)アイケーディー、(株)日本フェニックス、(株)ワニナル、(株)おやつカンパニー、(株)ARTS、(株)日硝ハイウエー、中川電化産業(株)、九鬼産業(株)、(株)ライフ・テクノサービス、(株)おやつタウン、(株)ZTV

子どもたちの明日へ、企業の力を！

2026年度新入会企業 おやつタウン、(株)ZTV

日頃より団体賛助会員としてユニセフの活動を温かく支えてくださっている皆さまに心より感謝申し上げます。今後、子どもたちの未来を支える企業の活動を順にご紹介してまいります。第二回は 生活協同組合コープみえ のユニセフ活動に迫ります。

生活協同組合コープみえ

つながりあう安心、笑顔が輝く暮らし
～平和な社会を未来へ引き継いでいきます～



コープみえ理事長 鈴木稔彦

■コープみえとユニセフとの関わりが始まったきっかけを教えてください。

私たちコープみえは、三重県ユニセフ協会の設立に深く関わり、当初から「子どもたちの命と未来を守る」というユニセフの理念に共感し、組合員とともに学び、行動する組織として協力を続けてきました。また、生協の関わりとしては、1979年の国際児童年まで遡ります。ユニセフの呼びかけにICA（国際協同組合同盟）が賛同して、日本生協連から日本国内の生協に呼びかけ、多くの生協で「バケツ1杯の水」を送る活動として、募金に取り組みました。

■現在のユニセフ活動の取り組みについて教えてください。

各地域で組合員が主体となって行う街頭募金や、注文用紙で行う募金、店舗での募金箱設置など、さまざまな形で協力を続けています。世界各地の紛争や、地震、洪水などの大規模自然災害が発生した際には、三重県ユニセフ協会と連携して募金に取り組み、日本ユニセフ協会を通じて現地の支援に役立てていただいています。また、各地域での学習会や、「子どもにやさしい空間(CFS)」の啓発活動にも取り組んでいます。

未来を育む、企業の力。 ユニセフと共に、子どもたちの笑顔を世界へ。

■注文用紙で行う募金とはどのようなものですか。

生協で商品を注文する際に注文番号を記入しますが、指定された番号を記入すると、ユニセフに募金ができる仕組みです。もちろん、アプリでも可能です。「一般募金」と「ウクライナ緊急募金」は、年間を通じて、注文用紙やアプリから募金ができるようにしています。2022年から呼びかけを行っている「ウクライナ緊急募金」は、これまでに13,633,399円の募金が寄せられ、日本ユニセフ協会に送金しています。

■学習会はどういった方が対象なのでしょう。

三重県ユニセフ協会より講師を派遣していただき、組合員や職員向けの学習会を各地域で開催し、紛争地域や被災地の子どもたちの状況、「子どもの権利」について学び、参加者一人ひとりが子どもを取り巻く課題に目を向け、私たちに何ができるのかを考える機会となっています。



組織活動推進部 執行役員 田中浩/部長 長澤理史

■ユニセフの活動に取り組んでいて感じる意義は何ですか？

ユニセフ活動は、世界の子どもたちを守るだけでなく、一緒に働く仲間や組合員の意識を育てる力があると思っています。

コープみえでは、「つながりあう安心、笑顔が輝く 暮らし」という基本理念のもと、安心して暮らし続けられる地域社会や、よりよい「食と健康」のある暮らし、そして、すべての人への配慮や思いやりを大切にしています。

ユニセフの活動は、こうした理念を具体的な行動として形にする大切な機会になっています。



コープみえ総代会/募金受取り
名誉会長/武田美保

■これから賛助会員になろうとする 企業・団体へメッセージをお願いします。

ユニセフの活動は、子どもたちの未来のためだけでなく、働く人の成長、企業・団体の理念を深める機会にもなります。少しずつ、募金箱を置く、パネル展をしてみる、学習会を企画する…など、どんな形でも「知ること」から始めれば、自然と共感の輪が広がっていくのではないかと思います。ぜひ一緒に、子どもたちの笑顔と未来を守る仲間になっていただけたらうれしいです。

団体賛助会員募集

貴団体のご参加が、子どもたちの命を守り、未来を照らす一歩となります。
ユニセフの志に共鳴し、ともに進んでくださることを、心よりお願い申し上げます。

公益財団法人 日本ユニセフ協会の賛助会費は、
ユニセフ募金や寄付金と同様、寄付金控除の対象になります。

活動報告

活動報告 9月～3月

- 2025/9/12 つながりリユース/コープみえ鈴鹿センター
- 2025/9/12-26 フレンテパネル展/「イエメン紛争激化9年」
- 2025/10/4 ワクワクスマイルフェスタ(コープみえ)
- 2025/11/10 5年生出前学習会/大三小学校
- 2025/11/14-28 写真パネル展/フレンテみえ
- 2026/1/23 ボランティア会議
- 2026/1/29 2年生出前学習会/川越中学校
- 2026/2/2 災害時の子どもの居場所づくり研修
- 2026/2/4 オンライン報告会「人道支援のローカリゼーション」ユニセフ
- 2026/2/15 伊勢市国際交流デー
- 2026/2/18 人権フィールドワーク/津商業高等学校
- 2026/2/28 久居国際交流協会事業
- 2026/3/25 鈴鹿ロータリークラブ卓話



2026/2/2コープみえ会議室



2026/2/15伊勢ハートプラザ

ハンド・イン・ハンド街頭募金活動

- 2025/12/14 近鉄ふれあいモール/27,601円
- 2025/12/15 津駅前/28,856円
- 2025/12/20 南伊勢まつり/25,828円
- 2025/12/21 (株)津松菱/26,044円・店舗設置募金箱/8,910円
- 2025/12/24 みえ医療福祉生活協同組合/31,639円



12/14近鉄ふれあいモール



12/20南伊勢まつり/上村町長様も募金



12/15津駅前



12/24みえ医療福祉生活協同組合



12/21(株)津松菱

発行：三重県ユニセフ協会

(事務所開設日：月・水・金 10時～17時)

TEL：059-273-5722 FAX：059-273-5758

〒514-0009 三重県津市羽所町379 コープみえ本部ビル1F

E-mail: mie-unicef@sweet.ocn.ne.jp ホームページ：<http://www.unicef-mie.jp>